

**（今年度の問題点）…①②の大きな変化を円滑に内実化していくことができつつある。**

**①新制度（施設方給付）移行園としての対応**

**②日照幼稚園からにっしょう認定こども園への対応**

**教育課程（全体計画）（やさしく かしこく たくましい仏の子）**

**I 教育目標（何を大切にするのか Goal/Aim/Target Stand on my own legs）**

やさしく！～心の教育・人間関係・思いやり～（おもてなし）

かしこく！～不思議だな・面白いな・やってみよう・考えてみよう～※創造力・言葉の豊かな子

たくましく！～体力をつけよう・子どもは風の子～（ルーティーン）

**II 教育方針（どんな方法ですのか Policy/ Course of action）**

（1）ともだちを大切に（やさしく）…②人間関係 ※お仏参・お誕生会

●友だちと言葉をかよわせながら楽しく遊ぶ子どもに育てる。

（2）生きる力を身につける（かしこく）…③環境④言葉⑤表現 ※サントレ・絵本読み

●子どもの好奇心をひろげ、自らものごとをやらうとする子に育てる。

●経験したことや考えたことを喜んで人に話したり人の話をよく聞く子に育てる。

●感じたことや考えたことを楽しんで表現する子に育てる。

（3）遊びを大切に（たくましく）…①健康 ※9～10時

●遊びをとおして、走る・とぶ・のぼる・ぶらさがる…いろんな運動能力を育てる。

（4）保育者の使命

●安心して子どもを預けていただくために、職員は保育の向上に努力する。

●自己の教育目標をもち、つねにその達成を自己評価しつつ教育力の向上をはかる。

**III 今年度の重点目標**

①保育目標…たくましい心と体をつくろう（継承）

②教師目標…評価項目に沿って自己点検・自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする。

③今年度の問題点の克服

**IV 今年度の内容（Contents）**

A =十分に達成されている。B =達成されている。C =取り組まれているが成果は十分ではない。D =取り組みが不十分である。

**[1] 教育目標・教育方針**

**【自己評価項目】**園の教育目標や方針、保育のねらいや内容について、職員と保護者にその理解を深めるよう取り組んでいる。

**【取り組み状況】（評価 B）**

○日常的な保育内容や取り組み、また行事のねらいなどは、ミーティングやクラスだよりや参観日などで伝えられてはいるが、さらに認定こども園として、0歳～就学時を見据えた園の教育方針の理解をより促

したい。

○日照幼稚園からにっしょう認定こども園への移行を地域へより浸透は不十分である。

## [2] 教育課程の編成

【自己評価項目】園の教育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性を考慮しながら、必要に応じて見直しが行われている。

### 【取り組み状況】(評価 B ) (昨年度はC)

○認定こども園の全年齢を見通した教育課程を作成することができた。PDCA サイクルの CA のさらなる充実をはかることが課題として残る。

## [3] 指導計画の作成と評価

【自己評価項目】互いに保育を見せ合って検討し、評価反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている。

### 【取り組み状況】(評価 A )

○毎週水曜日のミーティングをとおして、各自の月案の点検、また3年間の保育の連続性、教育方針の徹底などに大きな効果をあげている。さらに保育部門のおひさまミーティング、一時預かり事業の部門のポパイミーティングによって0歳児からの保育、長時間保育には大きな成果をあげた。

## [4・5] 教育環境の構成

【自己評価項目】幼児の発達に即した遊具や用具、素材などを用意している。

### 【取り組み状況】(評価 A )

○毎週水曜日のミーティングをとおして、各部屋のみならず、園全体の環境構成が考えられている。  
○施設型給付によって、保育園部門の保育室や遊具を充実することができた。

【自己評価項目】異年齢の幼児が自然に交流し、学びあえるような環境構成をしている。

### 【取り組み状況】(評価 A )

○毎週水曜日のミーティングをとおして、朝9時～10時までの好きな遊びを見つける時間は充実している。  
○預かり保育(3時以降)についてはポパイミーティングやスタッフの充実がはかられた。

## [6] 教師同士の協力連携

【自己評価項目】教職員全員が、すべての園児についてある程度理解しているようにさまざまな工夫をしている。

### 【取り組み状況】(評価 A )

○各種のミーティングをとおして教諭間では共通理解は十分なされている。

[7・8] 研修・研究への取り組み

【自己評価項目】 研修を修了した教職員が、研修内容を発表する機会を設けるなど、成果を共有する仕組みがあり、機能している。

【取り組み状況】(評価 A )

- 毎週水曜日のミーティングが十分に機能している。
- 職員の増加で外部への研修参加が増えてきた。
- 今後ともさらに研修の機会を増やす予定である。

【自己評価項目】 療育専門機関と連携をはかりながら、特別支援を必要とする幼児に対する保育のあり方について研修研究を行っている。

【取り組み状況】(評価 B )

- 毎週水曜日のミーティングが十分に機能している。
- 今年度は外部への研修参加がまだまだ少なかつた。職員の自覚と園の支援をはかりたい。

[9・10・11] 安全管理体制の整備

【自己評価項目】 緊急時（事故やけが、感染症の発生時など）の対応手順について、全教職員が共通理解をもてるように取り組んでいる。

【取り組み状況】(評価 A )

- 学校安全の中、①生活安全 ②交通安全には十分取り組まれている。
- AED が設置された→対応手順の訓練を。
- 消防署に指摘を受け、緊急避難通路を施設することができた。
- 保育園の避難訓練が10回であったが→12回に増やすことができた。
- 保育園は、内科検診は年1回であったが年2回にすることができた。
- 個人ではなく、園で全職員の健診とインフル受診を行った。

【自己評価項目】 事故の発生を未然に防ぐために、園内の危険箇所や危険な遊び方などについて教職員間で話合う仕組みが機能している。

【取り組み状況】(評価 A )

- 毎週水曜日のミーティングが十分に機能している。

【自己評価項目】 施設設備は常に整備され、室内は整理整頓が行き届いている。

【取り組み状況】(評価 A )

- 毎週水曜日のミーティングが十分に機能している。

[12] 保護者との協力と支援

【自己評価項目】 保育参観や保護者会などを開き、子供について、保育について、家庭でのあり方について、共通理解を得るように取り組んでいる。

【取り組み状況】（評価 A ）

- 保育参観である程度の理解は得られている。
- 保護者は行事へ積極的に協力をしている。

[13・14] 地域への開放と支援

【自己評価項目】 地域開放や子育て支援のあり方について、教職員で話合っている。

【取り組み状況】（評価 A ）

- 毎週水曜日のミーティングが十分に機能している。
- 主幹を中心に、今年は充実した「たんぽぽくらぶ」を運営できた。

【自己評価項目】 園がもつ専門的な技術や情報を地域に開放提供している。

【取り組み状況】（評価 C ）

- 今後の大きな課題である。

#### IV 今年度克服できたこと

- ①教育課程の再編成（0歳～就学時までの連続性）
- ②防災安全の問題…駐車場の充実→南海トラフへの備え。
- ③サントレの充実と評価と保護者への理解の浸透**
- ④調乳室を設置。室内遊具の充実。

#### IV 今後の取り組むべき課題

- ①ホームページの充実 ※持ち越した。
- ②にっしょう認定こども園の良さをいかに地域に伝えるか。その手段、内容。 ※持ち越し
- ③おひさま保育園の保護者会をすること。 ※持ち越し
- ④職員が施設設備の使用・管理・保全に熟達すること**
- ⑤まことの保育（仏教保育）カリキュラムの見直し。
- ⑥職員研修の充実。